

復旧・復興を最優先に

「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市」へ

「子ども空間」の放射線量を低減させることができ、外で元気な子どもたちの姿を見かけることが多くなりました。また、食

結びに、この一年が皆さまにとって、明るく幸せな年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

市民の皆さまの代表として

さらに期待に応えられる議会を目指します

3年目を迎える第五次白石市総合計画の大きな柱である「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市」を推進する中で、安定的な暮らしや雇用創出、交流・定住・移住という視点から考えた時に、昨年一番大きな成果は、企業誘致に成功し、白石インター工業団地への誘致がすべて完了したことだと思います。今後の雇用創出・確保、地域経済の活性化につながるものと期待をしております。

また、市民の皆さまの安定的な暮らしのために、安心して子どもを生み育て、心やすらかに暮らせるまちを目指し、子ども医療費の通院助成対象が就学前から小学6年生まで拡充するなど、子育て支援についても充実しつつあります。そして、市議会も市民の皆さまの代表として、議会本来の役割や機能を果たすべく議会改革検討委員会を立ち上げ、これまでに市民の皆さまに分かりやすく、期待に応えられる議会を目指して検討を進めているところです。市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年も、皆さまにとりまして幸多き年でありませう、議員一同ご祈念申し上げます。

白石市長

風間 康 静

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

現在、本市は東日本大震災からの復旧・復興の真っただ中にあり、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染や風評被害などの課題が山積しております。このような状況の中で、一日でも早く市民の皆さまの安心・安全を取り戻し、復旧から復興へシフトさせるためにも、今後4年間の舵取り役としての責任の重さを痛感しております。

白石市議会議長

保科 惣 一郎

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

東日本大震災から間もなく2年。本市においても、復興に向けて「白石市東日本大震災復興計画」を策定し、さまざまな事業に取り組みしておりますが、完全な復興に至るまでにはまだまだ時間を要するものと思われま

このように相次いで企業進出が決まり、雇用拡大による定住人口の増加が期待されます。この波にうまく乗って、関係機関と協力しながら、引き続きさまざまな機会をとらえトップセールスを行い、さらなる雇用と交流人口の拡大を図っていくことが、本市が目指している「交流拠点都市」への大きな一歩になると考えております。

さらに、復興を後押しするかのよう

また、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染や風評被害が、商工業・農林業・観光業などに大きな影響を及ぼしております。

また、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染や風評被害が、商工業・農林業・観光業などに大きな影響を及ぼしております。



For Everyone's Smile

「市民の皆さまの笑顔のために」と思いを新たにする風間市長(中央右)と保科議長(中央左)(平成24年11月28日、東保育園の園児と一緒に撮影)